

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員、希望者皆正社員化を。

めざせ、均等待遇、なくその差別！

ユニオンは労基法裁判に勝利するぞ！

ランドセルを送りませんか！

未来



全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中野支部
機関紙・「みらい」
NO. 3682
16年8月26日(金)
・Fax 095-828-1953

おはようございます。
皆さんは「想い出のランドセルギフト」活動を知っていますか？

「想い出のランドセルギフト」とは、使われなくなったランドセルをアフガニスタンに寄贈し、子どもたちに教育の機会に恵まれない女の子の就学に役立てる活動です。

私ことですが、今年春季、娘がランドセルを寄贈しました。そして先月、同様に寄贈されたランドセルと共に横浜港を出発し、9月の新学期から子ども達の手元に届くと手紙が来ました。

子どもたちが学校で学び、読み書きができるようになることで、自分や家族の健康を守る知識や情報を身につけられるようになることを目指して、14年目となるこの活動を、公益財団法人ジョイセフのHPから紹介します。

アフガニスタンの子ども

たち、特に女の子は十分な教育を受けられていません。アフガニスタンでは、23年間続いた内戦が2001年に終結したものの、教師や学校施設の不足、家庭が貧困であることなどを理由に、いまだ多くの子どもが学校教育を受けられていません。



特に、女子は男子に比べ教育を受ける機会が少なく、「世界子供白書2015」で見ると、男子の初等教育純出席率は64%、女子は48%にとどまっています。旧タリバン政権時代に女子教育の必要性が認められていなかったこともあり、アフガニスタンにおける15〜24歳の女性の非識字率は68%にのぼります。

12、13歳で結婚する女の子たち。妊娠・出産の環境は・・・

アフガニスタンでは女の子たちは十分に教育を受けられないまま、12〜13歳で結婚し、出産を始めることが少なくありません。母体が十分に発達しないままの妊娠・出産は、妊産婦死亡、新生児死亡の危険と直結しています。

また文字の読めない妊産婦は、保健や衛生の知識や情報を印刷物から得て理解することができず、妊娠・出産・育児における適切な手当てができない状況にあります。

読み書きができることは、赤ちゃんを安全に産み育て、自分と家族の健康を守ることにつながります。

そのような状況に置かれた妊産婦や新生児の健康を守るべく、ジョイセフは現地のNGOであるアフガン医療連合センターと協力して、2002年より母子保健活動を実施しています。

活動を進めるうちに母子の健康には地域や女性への教育が密接に関わっていることが明らかになってきました。

小学校の初等教育の6年間だけでも受けられるようになれば、読み書きができるようになり、女の子はもちろん、男の子も、自分や家族の健康を守る知識・情報を

身につけることができるようになるのです。



ランドセルが女の子の就学のきっかけに！

ランドセルは大きく光ってカラフルで、形に特徴があるためとても目立ちます。何も無い農村地域ではランドセルの配布を始めて1年であつという間に学校へ通う子どもたちの象徴となりました。

貧困のために、子どもの就学に同意しなかった親たちの間にも、子どもたちに日本から贈られたランドセルを背負わせて勉強させてやりたいと気持ちが芽生えました。

ランドセルを男女に平等に配ることで、「女の子も男の子と同じように学校へ通うのが当たり前」という考えが地域で根づきはじめています。

アフガニスタンのお母さんと赤ちゃんの命を救う第

一步は教育です。ランドセルは、その第一歩を踏み出すためのきっかけづくりに役立っています。

これまでに贈られたランドセル

2004年に開始して以来、およそ16万個のランドセルが現地に届けられ、女の子が学校に行くきっかけづくりに役立てられてきました。

ランドセルを受け取った現地の女の子の中には、日本からのランドセルのおかげで勉強を続けることができた、夢を描く力をもらったという嬉しいメッセージも届けられています。



なお春の想い出のランドセルギフトキャンペーンは終了しています。

次回の秋のキャンペーンは2016年9月1日〜10月17日に実施されます。詳しくはHPをご覧ください。

期間雇用パート労働者の皆さん！ 困りごとは職場の郵政ユニオンへご相談を。

1集-山本, 2集-向井, 3集-山田, 郵便-高田, ゆうちょ銀-上筋, 東-松岡, 他支部・分会の役員へ。